

デジタル技術の活用及びDX推進の取組状況

デジタル技術が社会や当社の競争環境に与える影響について

デジタル技術の進歩はめざましく、今や、パソコンやスマートフォンやインターネットが生活や事業活動を行う上で不可欠なツールとなっています。今後もデジタル技術は進展し、我々にとってさらに重要なインフラ・経営資源になる事は明らかです。

このような社会状況の中、アスベスト検査サービスを同業他社のどこよりも迅速にお客様に提供しするためには、デジタル技術を活用した生産性の向上が不可欠であると考えております。

経営ビジョン

堅牢なセキュリティー体制の整備を前提に、お客様情報や事務管理の全てをデジタル化し、迅速且つ正確なサービスを提供できる体制を構築致します。

これにより、お客様の利便性の向上と満足度の向上及び、当社の生産性の向上を図り、末永くお客様に選ばれ続けるアスベスト検査サービス会社を目指します。

経営及びデジタル技術等の活用の具体的な方策(戦略)

検査対象物件の基本情報入力、写真撮影、検査依頼、検査結果の報告などの、一連の作業がスマートフォンで行えるアプリを作成し、建設現場の事務作業効率を高めるサービスを開始します。

戦略を効果的に進めるための体制

代表取締役 田畑晃一がCIO（最高情報責任者）を兼務し、CIOをリーダーとした情報システム部門（プロジェクトチーム）を発足します。

プロジェクトチームには、システム開発会社のシステムエンジニアを社外メンバーとして迎え入れ、効果的なシステムの運用について議論するプロジェクト会議を定期的に行います。